

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【公表番号】特表2010-512384(P2010-512384A)

【公表日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-016

【出願番号】特願2009-541243(P2009-541243)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/192 (2006.01)
A 6 1 K 9/127 (2006.01)
A 6 1 K 9/51 (2006.01)
A 6 1 K 9/48 (2006.01)
A 6 1 K 47/28 (2006.01)
A 6 1 K 31/353 (2006.01)
A 6 1 K 31/23 (2006.01)
A 6 1 K 31/05 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 37/00 (2006.01)
A 6 1 P 19/02 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 1/16 (2006.01)
A 6 1 P 1/04 (2006.01)
A 6 1 P 17/00 (2006.01)
A 6 1 P 21/00 (2006.01)
A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/192
A 6 1 K 9/127
A 6 1 K 9/51
A 6 1 K 9/48
A 6 1 K 47/28
A 6 1 K 31/353
A 6 1 K 31/23
A 6 1 K 31/05
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 37/00
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 1/16
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月13日(2010.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非経口投与の為の医薬組成物であって、該組成物が非荷電のベシクル形成性脂質を含む長時間循環するコロイド状キャリアを含み、該コロイド状キャリアが該キャリア内部に捕捉された1以上のポリフェノール又はポリフェノール誘導体を含む上記組成物。

【請求項2】

該コロイド状キャリアが、生理学的条件下で中性又は負の電荷を有する、請求項1の医薬組成物。

【請求項3】

該コロイド状キャリアが、リポソーム、ナノカプセル又はポリマーミセルである、請求項1又は2の医薬組成物。

【請求項4】

該コロイド状キャリアが、40～200nmのサイズ範囲の選ばれた平均粒子直径を有するものである、請求項1～3のいずれか1項の医薬組成物。

【請求項5】

水溶性ポリマーにより誘導体化された最大で20モル%の両親媒性ベシクル形成性脂質を含む、請求項1～4のいずれか1項の医薬組成物。

【請求項6】

最大で10モル%の負に荷電したベシクル形成性脂質を含む、請求項1～5のいずれか1項の医薬組成物。

【請求項7】

最大で50モル%のステロールを含む、請求項1～6のいずれか1項の医薬組成物。

【請求項8】

ヒドロキシ桂皮酸；フラボン；フラバノン；フラボノール；カテキン及びエピカテキン；レスベラトロール；ヒドロキシチロソール；及びそれらの誘導体からなる群から選ばれるポリフェノールを含む、請求項1～7のいずれか1項の医薬組成物。

【請求項9】

炎症又は自己免疫疾患及びがんの処置の為の、請求項1～8のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項10】

炎症又は自己免疫疾患及びがんの処置において有効な医薬組成物であって、請求項1～8のいずれか1項に記載の医薬組成物を含む医薬組成物。

【請求項11】

該ポリフェノールが水溶性型で該医薬中に用いられる、炎症した組織又は領域の非経口投与による部位特異的処置の為の、請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項12】

リウマチ関節炎又は多発性硬化症の処置における、請求項9～11のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項13】

脱プロトン化可能なヒドロキシル基を有するポリフェノール又はポリフェノール誘導体を長時間循環するコロイド状キャリア中に装填する方法であって、(a)長時間循環するコロイド状キャリアの懸濁物を調製すること、該コロイド状キャリアは該コロイド状キャリアの外側よりも該コロイド状キャリアの内側により高い金属イオン濃度を有し、該金属イオンは、負に荷電したポリフェノール又はポリフェノール誘導体と比較的高いpHで複合体又は沈殿を形成することができる、(b)ポリフェノール又はポリフェノール誘導体化合物を該懸濁物に添加すること、及び(c)該コロイド状キャリアの外側における濃度よ

りも高いコロイド状キャリアの内側における化合物の最終濃度への、該コロイド状キャリアへの該化合物の取り込みを達成すること、を含む上記方法。